



愛郷無限

土屋館
どや
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2014年10月15日号 NO.497

写真提供：大山市

Subject：今年も大曲納豆汁旨め研が B-1 グランプリへ

B-1 グランプリ、今年で三度目の挑戦となります。2012年の北九州大会、2013年の愛知県豊川大会、そして2014年の今年はいまだ震災と原発事故の影響が色濃く残る福島県郡山市にて【東北・福島応援特別大会】を掲げ、今週末10月18～19日に開催されます。福島～宮城～岩手のご当地グルメ仲間は、震災以降も地域の精神的柱としてその活動を休むことなく、被災地の実情を全国に伝えるため、さらに全国からいただいた支援への恩返しのため、全国各地を巡って頑張っています。震災後の初の被災地開催となった今回は、これまでのB-1 グランプリとは異なる趣旨と気持ちの高まりがあるのです。もちろん私たち大曲納豆汁旨めもの研究会も出展します。本来B-1 グランプリは私たちが所属する愛Bリーグが主催であり、全国を持ち回り開催しているものなので、正確に言えば出展するのではなく、私たちも主催者の一員なのです。

今年は若手メンバーが夏前から粛々と活動と準備を頑張ってくれました。ご当地グルメ活動の本当の意味は「人づくり」にあるのです。また、魁新聞の記事でご覧になった方も多いはずですが、今年は大曲農業高校・家庭部に協力いただき、大曲納豆汁には欠かせない【高菜漬け】と【ネギ】をこの春から「無農薬」で栽培してもらいました。そして9月に収穫、高菜は内小友のナチュラルスタンスクラブさんの指導と協力をいただき、家庭部の女子高生と一緒に、収穫から塩漬け、洗い、刻み、真空パックまでを自分たちで行いました。無農薬なので虫が沢山付きます。そのため洗い作業は大変手間のかかるものですが、ナチュラルスタンスクラブさんのノウハウを惜しみなく投入いただき、辛みもしっかり効いた料理人も唸る美味しさになりました。その量なんと62kg！

私たちは17日早朝に大曲を出発して現地入り、18～19日の両日、我が郷里を全国に向けて発信してきます。今年も、「たかはらてるおと微笑みシスターズ」の皆さんもフル参加してくれます。三年間にわたって常に私たちと一緒にB-1 グランプリの現場で汗してくれた大切な仲間です。年金を積み立てて旅費を準備し、「歳だから来年は行けないかもしれない」と言いつつも、B-1 グランプリに行くことを毎年の楽しみにしてくれています。本当にありがたいことであり、そして嬉しいことです。大曲農業高校家庭部の生徒達と、引率の先生も郡山まで来てくれます。高校生にとっては必ずや希有な経験となるはず。福島県は県民一人当たりの納豆消費量が日本一多い県です。視察で訪れたコンビニでは普通に納豆汁のインスタント味噌汁が売られているほどなので、福島県人には郷土料理の誇り【大曲納豆汁】の美味しさがストレートに伝わることでしょう。

順位を競うのがB-1 グランプリではありません。日頃のご当地グルメで街作り活動の発表の場であり、あくまで展示会・博覧会です。

老若男女、力を合わせて地域をPRしてきたいと思います。